

第 104 回 科学技術部会	資料4
平成 30 年 2 月 26 日	

生殖補助医療に資する基礎研究の指針の検討について

1. 概要

総合科学技術・イノベーション会議（以下「CSTI」という）において、「総合科学技術・イノベーション会議生命倫理専門調査会「ヒト胚の取扱いに関する基本的考え方」見直し等に係るタスク・フォース報告書（第一次報告）」が平成 29 年 12 月 20 日にとりまとめられた。

本報告書に基づき、CSTI の報告書が年度内にまとめられる予定である。当該報告書では、まず将来の生殖補助医療に資する可能性が有る「生殖補助医療研究」を目的とした「余剰胚」へのゲノム編集技術等を用いる基礎的研究に係る「指針」の策定が文部科学省及び厚生労働省に求められる予定である。

CSTI より当省へ意見が来た場合には、厚生労働省では厚生科学審議会科学技術部会に専門委員会の設置をお諮りしたいと考えており、CSTI での現在の検討状況、今後の予定について報告する。

2. 今後想定されるスケジュール

- ・ 3 月 生命倫理専門調査会から CSTI へ報告（審議、とりまとめ）
CSTI から厚生労働省・文部科学省へ指針策定に関する意見具申
厚生科学審議会科学技術部会に専門委員会設置についてお諮りする
- ・ 4 月以降
文部科学省、厚生労働省合同の専門委員会を開催
4 回程度を目処に開催し案をとりまとめる予定